



東 侯 野 5月号

東侯野小学校 学校だより 平成29年4月28日

連絡はメール配信で？

校長 村田 幹男

「提出物がなかなか集まらない。」という声をよく耳にします。子どもに課している宿題のことだけではありません。保護者をお願いしているいろいろな提出プリントなども、その傾向はあるようです。

なぜでしょう。いくつかの原因が考えられます。

まず、子どもが、学校から配られたプリント類を親に見せていないこと。この場合は、帰宅したら必ずランドセルから配布物を出すことをお子さんに徹底できれば改善されそうです。その際、出しておく場所もきちんと決めておくといよいでしょう。しかし、学校で子どもが、ランドセルに入れず、机の中に入れてたままになっているとしたら……。これは、親はどうにもできませんね。このような場合、担任も気をつけて声かけをしていますが、ご家庭でも、学校と協力して整理整頓の具体的な支援にあたる必要があります。

あとは、子どもが親に配布プリントを渡しているのに、学校からの依頼、学校への提出が滞るという場合が考えられます。親御さんも忙しい時代ですから、学校からのプリント類も、なかなか細かく目を通せなくなっている現状があるのかもしれませんが。PTA 役員のみなさんからも「メール配信をした内容は必ず親は読むので、プリントよりメールの方が確実に伝わる。」という話をうかがいました。確かにその通りだと思います。

しかし、メール配信を中心に連絡をするようになったら、プリント類に目を通すということがもっと疎くなってくるでしょう。親の努めとして、学校からのプリントはしっかり読んでいただきたいと思います。

<お知らせ>

セクシュアル・ハラスメント相談窓口について

本校の児童・保護者に対する行為に関するセクハラ相談窓口は、「大塚寿美子養護教諭」が担当します。教職員に対する行為に関するセクハラ相談窓口は、「青木直美教諭」が担当します。
電話番号 852-6103

- ◆教育総合相談センターの一般教育相談も、セクハラ相談窓口として利用できます。
電話番号：045(671)3726~8

国際理解教室講師（IUJ）

今年度の国際理解教室の講師は、ジョー オセイ サフォ先生です。英語を使いながらガーナの文化について学びます。各学年年間4~5時間学習します。

外国語活動講師（AET）

今年度の外国語活動の講師は、ローレン ジョンソン先生です。1~4年は年間15~16時間、5・6年は年間30時間学習します。

○特別支援教育担当教員として、今年度も松本美智子教諭が、週1回主に金曜日に指導にあたります。また、特別支援教育支援員として、知久照太郎さん（大学生）、井上結理さん（大学生）が、各学級の児童の実態に応じて、担任と連絡を取り合い、生活支援や学習支援にあたります。